

宮崎大学 420 単位時間日本語教員養成プログラム

公開講義(第3回 10/26)のご案内

日頃より、宮崎地域の日本語教育に関しまして、ご関心を賜り感謝申し上げます。

2019年8月より開講の「宮崎大学 420 単位時間日本語教員養成プログラム」では、著名な講師をお招きしての特別講義を実施しており、受講生以外の方にも広くご参加いただいております。第1回(8/24)中川千恵子先生(國學院大學大学院)、第2回(9/26)森山 新先生(お茶の水女子大学大学院)のご講義の折も多くの方にご参加いただきました。

今日は、今期最後の公開講義となります、第3回をご案内申し上げます。ご参加くださいましたら幸いです。

◆公開講義： 「日本語教育の現状と歴史」

日時： 10月26日(土) 9:30~15:55

講師： 平高 史也 先生(慶応大学 総合政策学部 教授)

(プロフィール、講師からの一言は裏面をご参照ください)

費用： 5,000円(資料代込) 当日ご持参ください

場所： 宮崎情報ビジネス医療専門学校(MSG8号館) 501教室

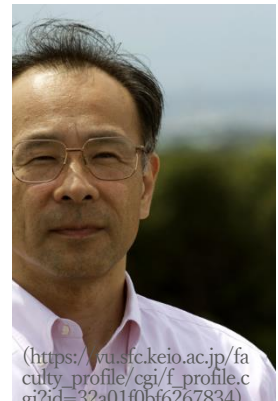
所在地： 宮崎県宮崎市広島2丁目10-21

(「MSG8」と書かれた建物)

<https://www.miyajobi.ac.jp/access>

駐車場： なし(お車の場合は、近隣の有料駐車場等をご利用ください)

交通： 宮交バス「宮崎駅」、JR宮崎駅 より、徒歩3分



◆お申込み

方法： 右のURLよりご入力ください。 <https://forms.gle/XGEKx4MY6IX1NLLA6>

備考： 第1回、第2回のお申込みの際に、第3回も併せてお申込みいただきました方は、お申込み不要です。ただし、お申込み内容に変更のある方は、再度、ご登録ください。

〈講師プロフィール〉

慶應義塾大学総合政策学部教授、文学博士。東海大学留学生教育センター、東ドイツ・ベルリン・フンボルト大学などで日本語教育に携わった後、1990年から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)で教育・研究に従事。専門は日本語教育、ドイツ語教育、社会言語学、特に日本語教育史、ドイツにおける移民に対する言語教育政策。主な編著書に『多言語主義社会に向けて』(くろしお出版)、『教科書を作る』(スリーエーネットワーク)、『日本語・日本語教育の研究—その今、その歴史』(スリーエーネットワーク)、『日本語教育史』(アルク)、『外国語教育のリ・デザイナー—慶應SFCの現場から』(慶應義塾大学出版会)『改訂版 日本語中級J301—中級前期—英語版』(スリーエーネットワーク)などがある。

(詳しくはhttps://vu.sfc.keio.ac.jp/faculty_profile/cgi/f_profile.cgi?id=32a01f0bf6267834)

〈講師から一言〉

かつて日本は海外で日本語を普及しようと、植民地として割譲された台湾と朝鮮半島や、中国大陸、東南アジア地域、南洋群島などで積極的に日本語教育を展開しました。このことが持つ意味は、すでに日本語教師として教壇に立っている方も、これから日本語教師になろうと考えている方も、忘れてはならないことだと思います。

それは過去的一幕で済むことではなく、私たちが生きる現在にも多かれ少なかれ関連しているからです。また、現在使われている日本語教科書や教授法、カリキュラム等も今突然現れたのではなく、過去の歴史の教訓が生きています。そのあたりについて、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

〈リンク〉

多言語多文化共生社会プロジェクト https://multilingual.sfc.keio.ac.jp/?page_id=57

平高史也研究会ウェブサイト <https://hirataka.sfc.keio.ac.jp/>

当日の時間割

時刻	時間	内容
9:20		開室
9:30	0:45	授業 1
10:15	0:10	(休憩)
10:25	0:45	授業 2
11:10	0:10	(休憩)
11:20	0:45	授業 3
12:05	1:15	昼休み
13:20	0:45	授業 4
14:05	0:10	(休憩)
14:15	0:45	授業 5
15:00	0:10	(休憩)
15:10	0:45	授業 6
15:55		終了
16:00		閉室

会場外観 宮崎駅西口 南に徒歩3分 坂下組ビル隣

